感染症情報　5月12日～18日

府下小児科186医療機関（堺市17）から

①感染性胃腸炎　1，723例（堺市　89例）
②溶連菌感染症　382例（堺市　56例）
③伝染性紅斑　281例（堺市　24例）
④咽頭結膜熱　138例（堺市　12例）
⑤突発性発疹　62例（堺市　3例）

府下292医療機関（堺市25）から

インフルエンザ　203例（堺市　18例）

報告数による順位。前週比51．3％増の2，747件。前回がゴールデンウィークを含んでいたことを考慮する必要がある。感染性胃腸炎が府下で前週から45％増、堺市で前週64例→今回89例。溶連菌感染症が府下で81％増、堺市で前週20例→今回56例。伝染性紅斑が府下で104％増、堺市で前週13例→今回24例。咽頭結膜熱が府下で33％増、堺市で前週8例→12例であった。

インフルエンザが府下で前週162例→今回203例は26％増。堺市は前週6例→今回18例。堺市の定点は0．72だった。

全数把握疾患の百日咳は大阪府で81例→82例は1例増、堺市は3例→2例であった。今年に入ってからの府内の累積報告数は1，110例となった。

府下292医療機関（堺市25）から

新型コロナウイルス感染症　252例（堺市　18例）
大阪府定点　0．86　堺市定点　0．72

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で16％増、定点当たり0．75→0．86。堺市で12例→18例、定点当たり0．48→0．72。

府下292医療機関（堺市25）から

急性呼吸器（ARI）感染症 11，849例（堺市　1，139例）
大阪府定点　40．58　堺市定点　45．56

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より24％増、定点当たり32．73→40．58、堺市で前回より19％増、定点当たり38．16→45．56であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。